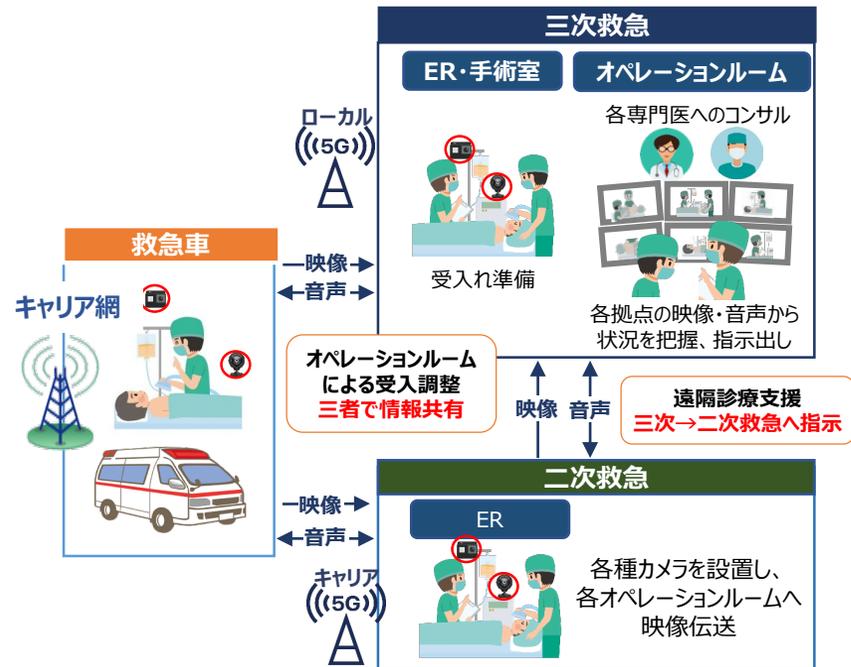


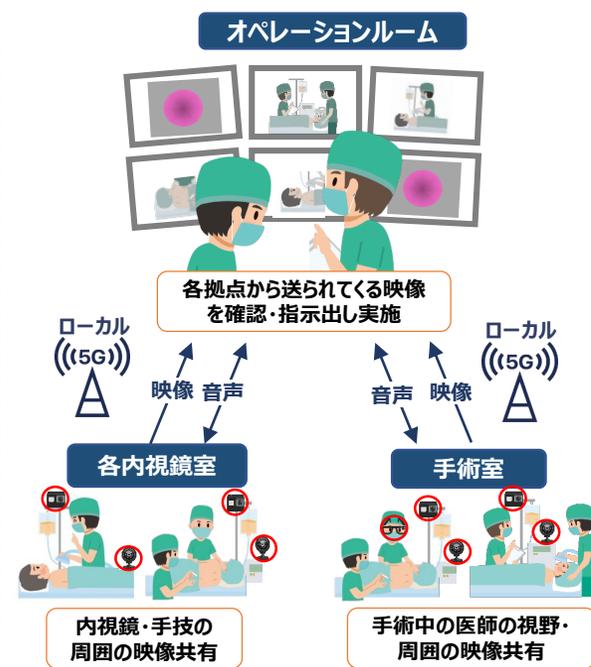
ローカル5Gを活用した大都市病院間の広域連携による 救命救急医療の強靱化と医師の働き方改革の実現

実施体制 <small>(下線：代表機関)</small>	トランスコスモス(株)、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)、聖マリアンナ医科大学、川崎市	実施地域 神奈川県川崎市 (聖マリアンナ医科大学病院、川崎市立多摩病院)
実証概要	近年、救急医療需要が急速に増大している中、救急患者の適切な受け入れ体制の強化が求められる一方、少子高齢化による 医師不足 や医師の 長時間労働 という課題が存在。 ➤ 病院内の救急医療センター等にローカル5G環境を構築し、 高精細映像のリアルタイム共有による救急搬送の高度化・効率化、360°カメラ等を活用した遠隔医療支援 及び 自律走行ロボットによる院内患者移動 の実証を実施。 ➤ 地域医療機関の連携や医師・看護師等の働き方改革を通じた 質の高い医療体制の構築 を実現。	
技術実証	➤ 複数の壁面、フロア、建屋で構成された大規模病院 におけるエリア構築の柔軟性向上を目的に、 分散アンテナシステム及び中継器 を用いたエリア構築を実施。 ➤ 周波数：4.8-4.9GHz帯（100MHz） 構成：SA方式 利用環境：屋内	

高精細映像のリアルタイム共有による 救急搬送の高度化・効率化



360°カメラ等を活用した 遠隔医療支援



自律走行ロボットによる 院内患者移動

